

山科が  
好きだ!



発行 11月27日 2022年 11月27日 京都府山科区西野山百々町227-56 TEL 075-594-5566



## ドオオオ! 本会議で かじわら英樹 代表質問しました!

質問の動画は  
こちらから!



12月7日  
京都府議会  
会派代表質問

### 知事答弁 01

- ・ワクチンの安定的な供給が大変重要。
- ・副反応等について正しい情報と丁寧な広報をしている。
- ・10代の接種率が低い。若い世代向けにメッセージ動画の配信、中学・高校へのデジタルチラシを配布予定。



### 質問 01

#### 3回目のコロナワクチン接種



3回目接種に関する今後の計画準備などどう考えてるの?

- ・1~2回目接種の問題点を3回目の接種に活かすべき。
- ・副反応を経験した人は3回目の接種に強い抵抗がある。
- ・未接種の府民への接種の推奨が重要と考えるが対策は?



### 知事答弁 02

- ・保険適用で患者の自己負担が増えたり、新たな負担が生じないように国に強く要望している。
- ・悩み事の相談に対応できる「仕事と不妊治療の両立支援コール」を設置しているがもっと気軽に相談ができるよう、今後も労働局と連携して不妊治療への啓発を促進していく。
- ・不妊症へは、独自の助成制度を創設し、治療への自己負担軽減に取り組んできた。今後も更なる周知・啓発・相談支援体制の強化に取り組む。

#### 不妊症

妊娠はするけれども、流産、死産や早期新生児死亡などを繰り返し、結果的に子どもをもてない状態。全国で毎年31,000人の方がこうした状態にあると推定されている。

### 質問 02

#### 不妊治療と不育症に対する支援

保険適用の不妊治療はどんなもの? 不育症の認知度の低さはどう考えてるの?

- ・保険適用で支援対象の治療が限定されれば、逆に妊娠が遠のく恐れも。今後どのような支援をするのか。
- ・不妊治療と仕事との両立が難しい方も多い。不妊治療に関する啓発が必要では?
- ・不妊症に比べ、不育症は社会的認知度が低い。今後の周知は?



### 知事答弁 03

- ・家庭部門や業務部門で削減が進んでいない状況。省エネの加速化、荒廃農地や駐車場などを利用した省エネの導入などに一層取り組んでいく。
- ・ZEH(ゼッチ)や住宅断熱などによる省エネ住宅の普及は非常に重要。国のZEH化補助金や既設住宅の省エネ改修に対する支援制度なども活用し、省エネ住宅の普及を進めていく。
- ・国が選定する脱炭素先行地域へは、積極的に応募を検討していく。

#### ZEH(ゼッチ)ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス

住まいの省エネ性を高め『使うエネルギーを減らし』使うエネルギーを太陽光発電などで『自家発電』し家庭に必要なエネルギーを『自給自足』できる住まい



### 質問 03

#### 次世代に胸を張って引き継げる温暖化対策

府の温室効果ガス排出量の削減がなぜ苦戦? どのようにリカバーしていくの?

- ・地域での省エネルギー政策で住宅断熱は重要。ZEHなどの省エネ住宅の普及に補助制度なども含めもっと力を注ぐべきでは?
- ・次世代を担う子どもたちのためにも脱炭素先行地域に名乗りを上げていただきたい。



### 知事答弁 04

- ・文化財修復現場の見学など多様な資源を観光に活用する取り組みも強化していく。また周遊性を高めるために、「食」体験に着目し、ストーリー性のある展開をしていく。
- ・DX時代を迎える中で、観光事業者が行動履歴やSNSへの書き込みなどのビッグデータに基づく戦略的な経営への変革のための総合的なサポートができるよう取り組む。

#### DX(デジタルトランスフォーメーション)

単なるIT活用による作業の効率化ではなく、デジタル技術によって、人々の生活がより良くなるような変革や、既存の価値観を覆す技術の革新がもたらされること。

#### 観光のDX

旅行者に対する消費機会の拡大や旅行者の消費単価の向上を目指し、これまでの態様に捉われない新たな観光コンテンツ・価値を生み出すべく、デジタル技術を複合的に活用しながら、観光サービスの変革と新たな観光需要を創出すること。

### 質問 04

#### 新たなニーズに応える京都観光

観光を幅広い産業の土台として地域発展につなげるには?

- ・国の「Go To トラベル」代替措置の「隣県府県割」について、隣県だけでなく関西各府県との連携もポイントとなるが、どうか?
- ・新たな観光ニーズへの対応や地域・他産業とも連携した多様なコンテンツ開発に繋がる仕組みが今こそ必要では?
- ・京都観光の新たなターゲット層を導き出すためにもDX(デジタルトランスフォーメーション)分野に注力するべきでは?





質問  
**05**

**時代に合った校則**



校則を児童生徒の主体性を培う機会になるようにするには何が必要？

教育長答弁 **05**

- 全ての教材を毎日持ち帰らせる校則や、靴下や防寒具の色などを定める校則の見直しに取り組んでいる。
- 高校生は、成年年齢の引下げで、今後在校中に成人になることを踏まえて、生徒同士で議論をしPTAや教員の意見を投げかけ、生徒が主体的に検討できるよう目指していく。
- 社会の常識や時代の変化に対応していないもの、人権等の観点から不適切なものがないか、絶えず見直し状況の把握に努めていく。



質問  
**06**

**持続可能な公共交通体系**

地域の実績に即した交通体系の構築のために今後の公共交通への支援、未来の展望は？

- 自治体や事業者、地域住民・利用者など全関係者による「チーム公共交通」を組織し責任ある話し合いが必要と考えるのがいかがか？
- 路線廃止などが相次ぐ中、採算性は悪くても地域における鉄道やバスの存続を選択するならば、公有民営方式の経営手法を検討する必要があると考えるのがいかがか？
- 公共交通は利用者数や収支等で評価する機会が多いが、本来はクロスセクターベネフィットの視点を用い、真の価値を把握して評価するべきでは？



答弁 **06**

- 北近畿タンゴ鉄道では、鉄道施設を第三セクターが保有、列車の運行を民営化する上下分離方式を導入している。
- JR在来線についてはネットワーク全体として同社が維持すべきものとする。バス事業は地域の実情に応じた移動手段が確保できるよう市町村と連携して取り組む。
- 京都府としては、地域公共交通計画の策定段階から参画し、支援や助言を行い地域における公共交通が持続可能なものになるよう取り組む。

**クロスセクターベネフィット**

ある部門で取り組んだことが、他分野で利益をもたらすこと

**公共交通のクロスセクターベネフィット**

例えば高齢者や障がい者など、誰もが利用しやすい公共交通を整備することにより、外出できなかった人が外出し、自分で病院に行けたり、就労の機会が得られるなどの変化が生じ、医療費や社会保障費の減少につながる効果

**2021  
山科のみなさんの  
声や要望を受け  
実現しました！**



1

山科区に19箇所、「夢とゴミは捨てないで」の心に刺さる看板設置が実現しました。

2



Before



After

誤って侵入する車両が多かった小野学区の時間帯通行禁止の場所に注意看板の設置が実現しました。

3



昨年8月の大雨の際、増水し濁流があふれた御陵原西町、山ノ谷の旧安祥寺川の嵩上げ工事が実現しました。

今後もみなさんの声を聞きながら、山科を良くするために走り続けます！



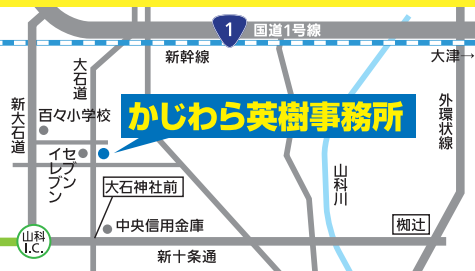
京都府議会議員

**かじわら英樹** 事務所のご案内

〒607-8301 京都市山科区西野山百々町 227-56  
TEL 075-594-5566 FAX 075-594-5588

スタッフから

どんな方にもお立ち寄りいただきやすいように、事務所にはキッズスペース、駐車場も完備しております！平日10:00-16:00は事務スタッフも常駐しておりますので、お困りごとなどございましたら、お気軽にお立ち寄りください！



災害やコロナなど身の回りのお役立ち情報を随時更新中！



かじわら英樹 LINE公式アカウント

みなさんと繋がりたいのでぜひご登録ください！

府議会や日常の活動など  
日々更新中！

かじわら ひで き  
**梶原 英樹** プロフィール  
昭和58年5月6日生まれ  
大宅小・大宅中・東稜高 卒業  
JR西日本 入社(H14)  
・車掌(H15~26年)  
特急サンダーバード等を担当  
・輸送指令員(H27~29年)  
・安全推進室(H29~30年)  
平成31年 京都府議会議員選挙 初当選



【役職】東稜高校硬式野球部OB会 副会長  
百々消防分団 班長  
百々体育振興会 庶務  
大宅アトムズ 顧問  
京都東山ボーイズ/レッドベアーズ 顧問  
保護司

【趣味】野球、ソフトボール、ソフトバレー、卓球、バドミントン、星空観測

【家族】妻(パート)、長男、長女



前原誠司衆議院議員、小島信太郎市議と連携しています！



続けてきた野球から、多くのことを学びました



車掌時代、担当していたサンダーバードの前で